

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理で依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社	
型番: MM-BTMSP4	シリアルナンバー:		
お客様・お名前・ご住所・TEL			
販売店名・住所・TEL			
担当者名			
保証期間 1年	お買い上げ年月日	年	月 日

サンワサプライ株式会社 Ver.1.0

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8
TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 バストラルビルN8
TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区権闘1-6-37 TM仙台ビル
TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-16-18 CUBE MIEIKI
TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 ONEST新大阪スクエア
TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百治ビル
TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078
CC/AJ/KIDaNo

ご質問はWEBサイトへ

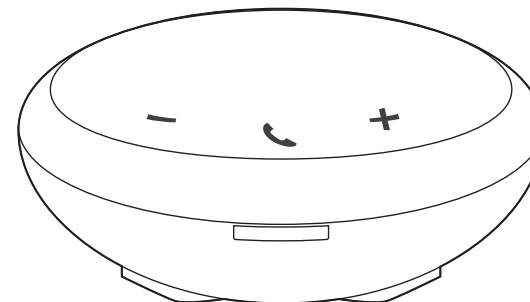
弊社サポートページ

- サポート情報
- 各種対応表
- ソフトダウンロード
- Q&A (よくある質問) etc.



Bluetooth 会議スピーカーフォン (個人向け)取扱説明書

MM-BTMSP4



最新の情報はWEBサイトで
<https://www.sanwa.co.jp/>

本製品の
最新情報は ▶
コチラ



本取扱説明書の内容、デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

目次

p.03	1.はじめに	p.12	11.操作方法
	2.セット内容		・基本操作
p.04	3.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)		・通話操作
p.06	4.特長	p.14	12.各種操作方法・LED点灯一覧
	5.対応機種	p.16	13.トラブルシューティング
p.07	6.仕様	p.18	保証規定
p.08	7.各部の名称とはたらき		
p.09	8.充電方法		
	9.電源のON・OFF		
p.10	10.接続方法		
	・スマートフォンと接続をする場合		
p.11	・パソコンと接続をする場合		

1 はじめに

この度は、Bluetooth会議スピーカーフォン(個人向け)「**MM-BTMSP4**」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

2 セット内容

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



①スピーカーフォン…1台



②収納ポーチ…1個



③充電ケーブル…1本



④取扱説明書・保証書(本書)…1部

※欠品や破損があった場合は、**品番**(MM-BTMSP4)と**上記の番号**(①～④)と**名称**(収納ポーチなど)をお知らせください。

3 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

警告 人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の内容

<内部を開けしないでください>

●内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対にしないでください。また、内部を改造した場合の性能の劣化については保証いたしません。

<内部に異物を入れないでください>

●内部に燃えやすいものや、金属片などが入った場合、水などの液体がかかった場合は、接続しているケーブルを抜き、お買い上げいただいた販売店又は弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと火災や故障および感電事故の原因になります。

<接続ケーブルを傷つけないでください>

●ケーブルを傷つけたままご使用になりますと火災・感電の原因となります。

<本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください>

<ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください>

<小さいお子様には使用させないでください>

注意 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容

●ケーブルやプラグが無理な力を加えないでください。破損や断線の恐れがあります。

●はじめから音量を上げすぎないでください。最大音量になっていると突然大きな音が出て聴力を損なう恐れがあります。

●ご使用になるときは、音量を大きくしすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間連続して聞くと聴力を損なう恐れがあります。

●使用中に本製品を移動させないでください。

●本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

●本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。

●本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。

●医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。

●飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。

●使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求に応答するため、常に電力を消費しています。

Bluetoothについて

●本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発信を停止してください。

良好な通信を行うために

●他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能になる場合があります。

●Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声が入りやすくなります。

●Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻りに途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。

●IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

●無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

4 特長

- 小型なので持ち運びに便利です。
- 集音範囲が約1mで自分の声以外を拾いにくく雑音を低減し、1人用のWEB会議に適しています。
※2人以上での使用には適していません。
- マイクミュートスイッチ付きで簡単にマイクミュートが可能です。
- 底面にスピーカー搭載でスタンドを立てることで音が聞こえやすくなります。
- 小型なのに長時間の使用が可能です。

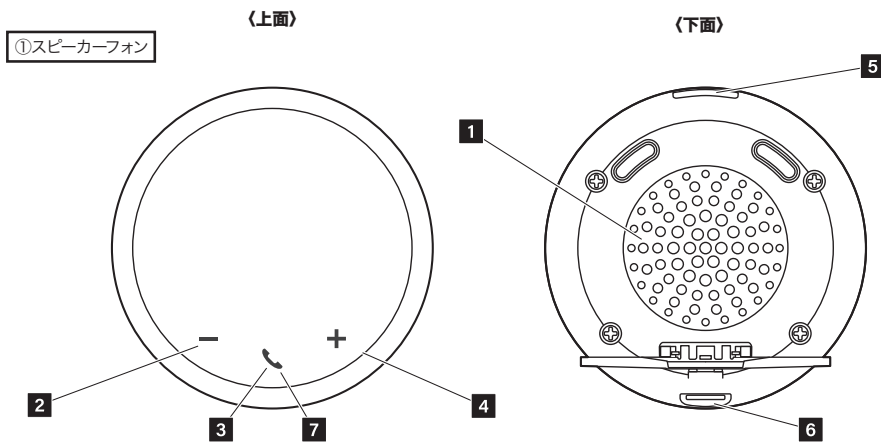
5 対応機種

- Bluetooth内蔵スマートフォン、iPad/iPhone、パソコンなど

6 仕様

伝送方式	GFSK
対応コーデック	SBC
マルチポイント	対応
適合規格	Bluetooth 5.1
周波数範囲	2.402~2.480GHz
通信距離	10m
対応プロファイル	HFP、A2DP、AVRCP
電源	リチウムポリマーバッテリー
充電時間	約2時間
連続再生最大時間	約12時間
連続通話最大時間	約20時間
連続待受最大時間	約200時間
再生周波数帯域	20-20000Hz
マイク感度	-36 dB ± 3 dB (0dB=1V/Pa)
ドライバユニットサイズ	40mm
マイク指向性	無(全)指向性
充電ポート	Type-C
接続方式	Bluetooth
対応機種	Bluetooth内蔵スマートフォン、iPad/iPhone、パソコンなど
サイズ・重量	約W85×D85×H34mm・約104g

7 各部の名称とはたらき

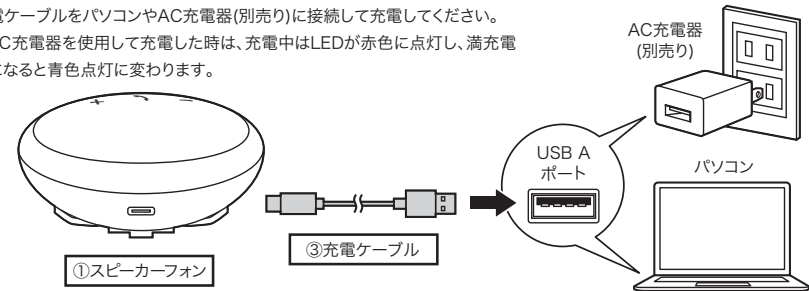


名称	機能
1 スピーカー	音声を出力します。
2 音量ダウンボタン	音量を下げます。
3 MFBボタン	着信に出たり、通話を切ったりできます。また、電源のON・OFFやペアリングに使用します。
4 音量アップボタン	音量を上げます。
5 ミュートボタン	マイクの音声をミュートにできます。
6 充電ポート	スピーカーフォンを充電する際に充電ケーブルを接続します。
7 LED	14ページ「12.各種操作方法・LED点灯一覧」に記載されている通りに点灯します。

8 充電方法

❗ はじめてご使用になるときは、充電してからご使用ください。
※充電時間は約2時間です。

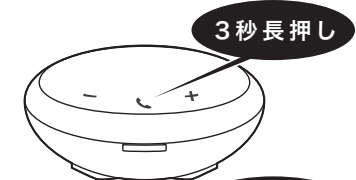
充電ケーブルをパソコンやAC充電器(別売り)に接続して充電してください。
※AC充電器を使用して充電した時は、充電中はLEDが赤色に点灯し、満充電になると青色点灯に変わります。



9 電源のON・OFF

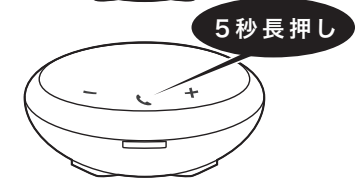
■ 電源をONにする

電源がOFFの状態でもFBボタンを約3秒間長押ししてください。「Power on」という音声アナウンスが鳴り、LEDが青色に点滅します。



■ 電源をOFFにする

電源がONの状態でもFBボタンを約5秒間長押ししてください。「Power off」という音声アナウンスが鳴り、LEDが赤色点灯後、消灯します。



10 接続方法

本製品をお手持ちのBluetooth機器で使用するためには、お手持ちの機器とペアリングを行う必要があります。

(例) スマートフォンやパソコンとの接続方法 ※詳しくは接続機器の説明書をご覧ください。

- ① 本製品の電源がOFFの状態、MFBボタンを約7秒LEDが青赤交互に点滅するまで長押ししてください。「Pairing」という音声アナウンス後、ペアリングモードになります。
- ② スマートフォンやパソコンのBluetoothを「ON」にしてデバイス名(MM-BTMSP4など)を選択してください。

! ご使用の機器やOSによってデバイス名の表記が変わる場合があります。

■ スマートフォンと接続をする場合

iOSの場合

(1) [設定] → [Bluetooth]を選択してください。



(2) 「Bluetooth」をONにし、デバイス名を選択してください。



※パスキーを要求された場合は下記を入力してください。

デバイス名	MM-BTMSP4※1
パスキー	0000(ゼロ四つ)

※1 ご使用の機器やOSによってデバイス名の表記が変わる場合があります。

※操作画面は参考です。ご使用のスマートフォンのOS、機種により画面は異なります。

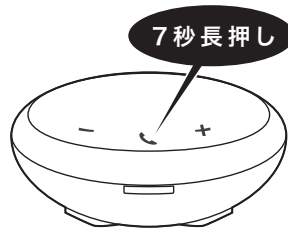
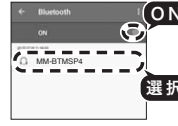
! 何もペアリングされていない状態で電源をONにすると、ペアリングモードになります。

Androidの場合

(1) [設定] → [Bluetooth]を選択してください。



(2) 「Bluetooth」をONにし、デバイス名を選択してください。



■ パソコンと接続をする場合

Windows11・10・8.1・8の場合 ※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

※下記の説明はWindows OS、標準でBluetoothを内蔵しているパソコンなどでの例です。外付けのUSB Bluetoothアダプタなどを使用されている場合は、そちらの取扱説明書をご確認ください。

(1) パソコン画面の左下のWindowsキーを押して、「設定」を選択します。 (2) 「デバイス」を選択します。



(3) 「Bluetoothとその他のデバイス」を選択しBluetoothを「オン」にして、「+」を選択します。



(4) 「Bluetooth」を選択した後、デバイス名を選択してください。



macOSの場合 ※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

※下記の説明はmacOS、標準でBluetoothを内蔵しているパソコンなどでの例です。外付けのUSB Bluetoothアダプタなどを使用されている場合は、そちらの取扱説明書をご確認ください。

(1) システム環境設定の「Bluetooth」を選択してください。 (2) 接続したいデバイスの「接続」を選択します。



(3) ペアリング(接続)が完了すると「未接続」→「接続済み」に表記が変わります。接続が完了します。

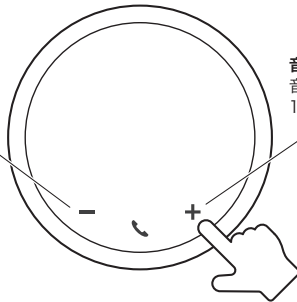


11 操作方法

■ 基本操作

音量調節

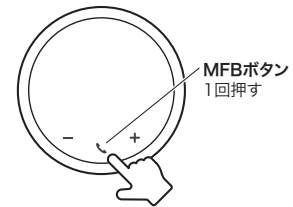
音量ダウンボタン
音量を下げる/
1回押す



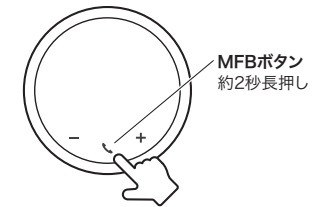
音量アップボタン
音量を上げる/
1回押す

■ 通話操作

着信に出る/ 通話を切る

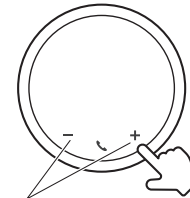


着信拒否



※スマートフォンでの通話の場合です。

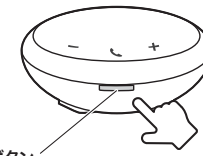
通話切替



音量ダウン、アップボタン
同時押し

※スマートフォンでの通話の場合です。

マイクミュート



ミュートボタン
1回押すとミュート(赤色LED点灯)
ミュート中に押すと解除(LED消灯)

12 各種操作方法・LED点灯一覧

	動作・状態	操作方法	音声アナウンス	LED
基本操作	電源ON	MFBボタンを約3秒間長押し	Power on	青色点滅
	電源OFF	電源ONの状態でもMFBボタンを約5秒間長押し	Power off	赤色点灯→消灯
	ペアリングモード	電源OFFの状態でもMFBボタンを約7秒間長押し	Pairing	青色赤色交互点滅
	リダイヤル	MFBボタンを2回押す	—	—
	充電中	—	—	赤色点灯
	充電完了	—	—	青色点灯
	電池残量低下	—	Battery Low	赤色点滅
	機器(スマホ)との接続時	—	Connected	10秒に1回青色点滅
	機器(スマホ)との未接続時	—	—	10秒に2回青色点滅
	Siri起動	ミュートボタン長押し	—	—
Google	—	—	—	
通話時	電話に出る	着信中にMFBボタンを1回押す	—	—
	電話を切る	通話中にMFBボタンを1回押す	—	—
	ヘッドセット・スマートフォンの通話切り替え	+、-同時押し	—	—
	着信拒否	MFBボタン約2秒長押し	—	—
音楽再生時	マイクミュート	マイクミュートボタンを1回押す	—	赤色点灯
	再生/一時停止	MFBボタンを押す	—	—
	曲送り・曲戻し	+、-長押し	—	—
	音量調節	+、-ボタンを押す	—	—

13 トラブルシューティング

Q)マイクの音量が小さい。

A) パソコンの種類や初期設定によってはマイクの音量が小さい場合があります。その場合は、マイクの音量調整をしてください。

例)Windows 11・10・8.1・8・7の場合

- ①カーソルを画面の左下隅に動かして右クリックし、メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ハードウェアとサウンド」をクリックします。または「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windowsシステムツール」を選択し、「コントロールパネル」の中の「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
※Windows 7の場合は、「スタート」ボタンから「コントロールパネル」をクリックします。
- ②「サウンド」をクリックします。
- ③「録音」タブをクリックし、該当のマイクをダブルクリックして「マイクのプロパティ」を表示します。
- ④「レベル」タブをクリックします。
- ⑤「マイク」の音量バーをスライドさせて80～90に設定します。
※この時「M」ミュート(消音)になっている場合は解除してください。
- ⑥「OK」をクリックして、コントロールパネルを終了します。

Q) 環境ノイズが入る。

A) 相手にこちらの環境ノイズが聞こえる場合は、本製品を雑音源(パソコンやプロジェクターの放熱ファン、クーラーの下)から離して設置してください。